

株式会社湯山製作所
大阪本社

この企業の製品と繋がる履修科目

【機械系科目】

機械設計	》》》	繋がる理由 自動分割分包機は、人にやさしい材料メディカルポリマーに関する知見や、医療業務に携わる全ての人へ安全を担保する製品設計が求められます。機械設計で学ぶ、設計条件や仕様、設計コンセプト（設計指針）など適切なバランスを保ちながら製品設計を行う基礎知識が役立ちます。
機械材料学	》》》	繋がる理由 自動分割分包機は、軽量化、滅菌も重要な製品品質のひとつです。製品設計ではこれらの要件を満足させる樹脂素材も含めた最適な材料選定が求められます。機械材料学で学ぶ、医療機器を構成する部品に必要とされる要件を備えた材料を選定する基礎知識が役立ちます。

【電気系科目】

電子工学	》》》	繋がる理由 自動分割分包機は、バーコードリーダ、RFID読取装置、錠剤カセット機構、印字装置などがあります。これらを制御するためには、マイコンやメモリといった回路設計／開発が必要になります。電子工学で学ぶ、半導体を使用した電子回路設計や、情報伝達を行う通信処理、信号処理といった基礎知識が役立ちます。
電気工学	》》》	繋がる理由 自動分割分包機は、錠剤や粉薬などを服薬のパターンに応じて行われる散薬部位には、振動モータが使われています。また、自動分割分包機の各種設定状態を表示するモニターや、手撒き作業を分かりやすくする部品としてLED素子が使われています。これら様々なデバイスを使用した電気回路設計は電気工学で学ぶ、電気回路の基礎知識が役立ちます。

【情報系科目】

医工学



繋がる理由

自動分割分包機は、調剤現場で働く人へ安全を担保し、製品として適切な効果、支援が得られることを保証した製品設計が求められます。医工学で学ぶ、医療分野に適用し、医療の発展に貢献する基礎知識が役立ちます。

人間工学



繋がる理由

自動分割分包機は、分包操作を行う部位があります。見やすさを重視した大画面のタッチパネルの採用や、入力しやすい操作面で散薬/錠剤の分包作業が簡単に行えるよう設計しています。特に分包サイズは60、70、76、80、90mm／包の薬包サイズから選択可能で、分包する内容量やコスト面を考慮して最適なサイズが選べます。このような誰もが簡単に操作、設定できる工夫を随所に施した設計を行っています。人間工学で学ぶ、働きやすい環境の実現と安全で使いやすい製品を設計する基礎知識が役立ちます。

センサ工学



繋がる理由

自動分割分包機は、バーコードリーダやRFID読取装置等を用いて分包作業を正しく行うための制御が行われています。センサ工学で学ぶ、センサを使用して様々な情報を計測して数値化する基礎知識が役立ちます。

プログラミング



繋がる理由

自動分割分包機は、対象物の判別制御や、判別後の動作はソフトウェアによって制御しています。プログラミングで学ぶ、プログラムのモジュール構成やアルゴリズムの設計、その設計に基づきソフトウェア開発をする基礎知識が役立ちます。

生産工学



繋がる理由

自動分割分包機は、製造工程において以下4点に留意する必要があります。
①加工や組立のばらつきを少なくする②誰でも同じように組立できる③作業時間が短縮できる④安全に作業ができるといったQCDSを改善することです。これらの留意点は生産工学で学んだ生産のムダや不具合発生などを無くするための技術、知見などの基礎知識が役立ちます。

この企業のポイント

- 主力の医療用調剤機器だけでも年間で1万台に迫る生産及び販売台数を誇り、一貫した自社開発・生産体制により、業界シェア1位を獲得。
- 分包機は、今では当たり前のように定着している薬を1回分ずつパックする「一包化」を実現。

製品はここで使われています！

薬局向けの薬剤の調剤機器を中心に、病院向けの滅菌機器などの開発・製造をおこなう。会社設立当初から、錠剤を主とした薬剤の分包機の調剤方式で特許を取得したこともあり、医療機器の分野で今日に至るまで成長を続けている。この他にも、調剤台や病棟機器など、ほぼ100%に近い割合で医療機器の取り扱いが占めており、シェアは極めて高い。近年では、カルテ等の電子化に伴い、同社が開発したソフトウェアとPCのキーボードとタッチパネルとを組み合わせた「Brain Box V2」なるカルテシステムや医療業務用のソフトウェア等の開発も進んでいる。